

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第46週)

宮城県【平成26年11月20日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2014.11.10 ~ 11.16 ・ 第46週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙台市		宮 城 県 (含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第43週	第44週	第45週	第46週
水痘	5 1.00	8 0.80	10 2.00	2 1.00	5 1.67	5 1.00	1 0.50	29 1.12	65 1.12	1,909	○→	○→	◎→	◎
流行性耳下腺炎				2 1.00	2 0.67			3 0.12	7 0.12	601	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	11 2.20	21 2.10	10 2.00	9 4.50	15 5.00	10 2.00	4 2.00	127 4.88	207 3.57	15,890	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	4 0.80	7 0.70		2 1.00		1 0.20	2 1.00	10 0.38	26 0.45	422	→	→	→	○
伝染性紅斑	13 2.60		1 0.20	1 0.50	4 1.33	21 4.20		24 0.92	64 1.10	2,380	○→	◎→	◎→	◎
突発性発しん	4 0.80	3 0.30	6 1.20	2 1.00	3 1.00	5 1.00	1 0.50	12 0.46	36 0.62	1,769	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ	1 0.20							1 0.04	2 0.03	2,427	レ→	→	→	
インフルエンザ	1 0.13							4 0.10	5 0.05	28,926	→	→	→	
咽頭結膜熱				4 2.00		1 0.20		9 0.35	14 0.24	621	→	→	→	
流行性角結膜炎		2 0.67						1 0.17	3 0.25	151	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 1.00	21 2.10	5 1.00	8 4.00	1 0.33	19 3.80		74 2.85	133 2.29	5,148	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎	1 1.00								1 0.08	4	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	2 2.00			3 3.00	2 0.40	8 0.67	385	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	38 7.60	8 0.80			1 0.33	1 0.20		50 1.92	98 1.69	707	→	○→	○→	◎
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2	1	2		1	2	4	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
	川崎病									【 <b>週報の詳報</b> 】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>				
	不明発疹症							5						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※								52					

**今週の全数報告疾病**

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満  
2類感染症: 結核

仙南管内 女性1名  
大崎管内 女性1名  
栗原管内 女性1名  
登米管内 女性1名  
石巻管内 男性1名(第45週)、男性1名  
気仙沼管内 男性1名  
仙台管内 男性1名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O103)  
仙台管内 男性1名

4類感染症: 報告なし  
5類感染症: アメーバ赤痢  
仙台管内 男性1名  
侵襲性肺炎球菌感染症  
石巻管内 男性1名  
播種性クリプトコックス症  
仙台管内 男性1名(第45週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

**今週の感染症のコメント**  
- 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -

【伝染性紅斑】  
仙南、登米、石巻管内で警報継続中。

**【病原体検出情報】**  
～仙台医療センターウイルスセンター～

	第44週採取分 (10.27～11.2)	第45週採取分 (11.3～11.9)	第46週採取分 (11.10～11.16)
パラインフルエンザウイルス2型	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス4型	0件	4件	0件
RSウイルス	4件	2件	2件
アデノウイルス	1件	0件	1件
エンテロウイルス	2件	0件	0件
サイトメガロウイルス	0件	1件	0件

【RSウイルス感染症】  
RSウイルス感染症は、RSウイルス感染によって発症する呼吸器感染症である。  
先週に引き続き、仙南、仙台管内で患者の増加がみられた。  
例年、冬期に流行する傾向があり、乳幼児期においては重要な疾患であることから、今後も注意が必要である。

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

**定点把握の対象となる5類感染症(全国 第43週)** (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ:** 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は長崎県(0.99)、新潟県(0.67)、沖縄県(0.57)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は12例と前週と比較して増加し、7県から報告があった。**RSウイルス感染症:** 報告数は3,423例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(1.30)、群馬県(0.88)、山形県(0.80)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(3.89)、福岡県(3.59)、北海道(3.55)である。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(7.14)、香川県(6.72)、富山県(6.52)である。**水痘:** 定点当たり報告数は第39週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は福井県(1.64)、佐賀県(1.57)、長野県(1.52)である。**手足口病:** 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.91)、愛媛県(2.59)、山形県(1.93)である。**百日咳:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.12)、新潟県(0.08)、青森県(0.05)である。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(0.89)、北海道(0.56)、佐賀県(0.52)である。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は石川県(1.20)、香川県(1.20)、秋田県(1.00)、宮城県(0.83)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当たり報告数は増加した。7都県から9例報告があり、年齢別では0歳(5例)、1～4歳(2例)、5～9歳(1例)、30代(1例)であった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数